

事業名：レッツ・イングリッシュ外国青年招致事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和63年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内公立中学校の生徒
手段（事務事業の内容、やり方）	市内中学校で英語の授業を行う際に、外国語指導助手（ALT）を派遣する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	外国人とコミュニケーションをとる機会を提供することにより、生徒の基礎的・実践的コミュニケーション能力（聞く・話す・読む・書く）の向上を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	中学校生徒数	人	3,528	3,376	3,361	3,319
対象指標 2						
活動指標 1	外国語指導助手人数	人	2	2	2	2
活動指標 2	ALTによる1クラス当たりの授業時数（年間）	時間	9.6	8.1	9.6	8.1
成果指標 1	英語の総授業時数のうちALTが授業に入った割合	%	6.8	5.4	6.8	5.4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	7,912	6,283	7,386	7,335
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	3,129
総事業費 (A+B)		千円	9,515	7,846	8,951	10,464

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	市内中学校で英語の授業を行う際に、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	外国語指導助手派遣費用 7,335千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：学校図書館事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学校図書館の図書の新規購入・更新									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学校図書の充実により、児童生徒が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付ける。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	図書購入冊数	冊	13,085	12,231	18,184	14,481
活動指標 2	環境改善にかかる費用	千円	1,907	1,223	1,237	1,221
成果指標 1	蔵書率	%	74.9	78.4	82	87
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	18,726	19,219	19,226	19,255
正職員人件費 (B)		千円	3,206	3,124	3,128	3,128
総事業費 (A+B)		千円	21,932	22,343	22,354	22,383

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	図書の購入	図書購入費 小学校11,500千円 中学校 6,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：教育研究会事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市教育研究会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市教育研究会が行う事業の経費の一部を補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
江別市教育研究会の研究活動等を通じて教職員の研修等を進め、資質の向上を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	教育研究会所属教員数	人	608	608	621	618
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	5,200	4,970	5,200	5,200
活動指標 2						
成果指標 1	研修会等開催日数	日	208	184	224	188
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,200	4,970	5,200	5,200
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	6,002	5,751	5,982	5,982

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別市教育研究会に対し所要の経費を補助する。	江別市教育研究会補助金 5,200千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：校外学習推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	スキー授業を受ける小中学校児童生徒
手段（事務事業の内容、やり方）	学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	当市にスキー場が無い事に鑑み、スキー授業実施に係るバス借上料の助成を行い、保護者の負担軽減を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	スキー授業を受ける小中学校児童生徒数	人	6,280	6,033	6,031	5,949
対象指標 2						
活動指標 1	借上したスキーバスの台数	台	176	179	190	194
活動指標 2						
成果指標 1	スキー授業に参加した児童生徒の延人数	人	6,280	6,033	6,031	5,949
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	7,207	10,713	15,390	17,913
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	2,347
総事業費 (A+B)		千円	8,810	12,276	16,955	20,260

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	小中学校のスキー授業等の実施にあたり、1回分のバス賃借料を負担する。	・小学校 12,895千円 ・中学校 5,018千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	維持	増加
					○
		低下			

事業名：江別市教育研究所事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市教育研究所
手段（事務事業の内容、やり方）	教育に関する調査、研究、資料の収集整理などを行う
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	江別市の教育の進展と充実を図る

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	研究所数	箇所	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	研修会等開催回数	回	3	6	5	4
活動指標 2						
成果指標 1	研修会等参加者数	人	540	669	603	699
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,041	2,177	2,216	2,243
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	2,843	2,958	2,998	3,025

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育に関する調査、資料の収集及び教育行政の情報提供</li> <li>教育相談・研修及び関係各機関との交流。</li> <li>教育研究所所報等の出版</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究所運営経費 1,880 千円</li> <li>教職員セミナー等研修会開催経費 182 千円</li> <li>家庭向けリーフレット作成経費 78 千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：特別支援学級生活介助事業

学校教育支援室参事（特別支援教育）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の特別支援学級の児童・生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
特別支援学級を設置している小中学校に生活介助員（非常勤）を配置する。又、特別支援学級の運営に必要な環境整備を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
一人ひとりの教育的ニーズに則した支援の実現を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校の特別支援学級の児童・生徒数	人	152	157	172	199
対象指標 2						
活動指標 1	支援員（特別支援学級生活介助員）数	人	23	24	25	28
活動指標 2	特別支援学級教員数	人	54	59	66	89
成果指標 1	教職員（特別支援学級教員及び介助員）1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	1.97	1.89	1.89	1.7
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	40,406	42,278	45,773	49,569
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,956	1,956
総事業費 (A+B)		千円	42,009	43,841	47,729	51,525

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員（特別支援学級生活介助員）の配置</li> <li>特別支援学級の運営</li> <li>特別支援教育教室等の改修</li> <li>障がい児教育に必要な器具等の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員（特別支援学級生活介助員）報酬：43,279千円</li> <li>特別支援学級の運営経費（消耗品外）：3,603千円</li> <li>特別支援教育教室等の改修費用：1,137千円</li> <li>障がい児教育に必要な器具等の購入費：1,550千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：学校適正配置推進事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・小中学校の児童生徒</li> </ul>									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性や将来動向を見極め、保護者や地域等の理解を得ながら、統廃合など学校規模の適正化を行う。</li> <li>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、閉校記念式典事業を行う団体に対し、対象経費の全額を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・小中学校が児童生徒の教育環境として適正な規模となる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校数	校	28	27	27	27
対象指標 2	小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
活動指標 1	学校統合に係る協議の開催回数	回	9	10	10	5
活動指標 2						
成果指標 1	適正な学校規模（12～18学級）にある学校数	校	13	13	14	13
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	11,273	21,850	589	18,091
正職員人件費 (B)		千円	9,619	12,891	12,518	12,515
総事業費 (A+B)		千円	20,892	34,741	13,107	30,606

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別小学校と江別第三小学校の統合校（江別第一小学校）開校に必要な協議</li> <li>・統合校開校に伴う仮設校舎への移転等</li> <li>・閉校記念式典事業に対し補助金を支出</li> <li>・統合に係る学校事務職員を配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合校開校準備委員会開催経費 46千円</li> <li>・統合校開校に伴う引越等委託料 11,230千円</li> <li>・閉校記念式典事業補助金 5,000千円</li> <li>・学校事務補助員報酬 1,315千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				○

事業名：学校給食事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小・中学校児童・生徒等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
給食センターで作った給食を専用搬送車両で市内全公立小中学校へ配送し、各学校に配置している配膳員が各クラスに配膳する。 給食に地場産野菜を提供してくれる農家団体やJA道央と調整し、出来るだけ多くの地場産野菜を導入する。 「江別市学校給食会運営費補助要綱」に基づき、江別市学校給食会へ補助金を支出する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
正しい食事のあり方や、望ましい食生活を身につけ、食事を通じて育成時に必要な食事を摂取（栄養バランス、量）し、健康が維持される。また、食事、給食活動を通じて、豊かな心が育成される。 児童生徒に新鮮で安全安心な地場産野菜をたくさん使って、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより健康の増進と体位の向上に貢献する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	年間給食センター稼働日数	日	205	204	203	205
活動指標 2						
成果指標 1	地場産野菜の使用率	%	46.6	45.9	46.6	46.6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	230,591	232,331	237,518	244,813
正職員人件費 (B)		千円	133,867	130,477	130,661	122,805
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>364,458</b>	<b>362,808</b>	<b>368,179</b>	<b>367,618</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理場運営、維持管理費用</li> <li>配膳員をはじめとする給食関係職員の人件費</li> <li>給食配送や弁当箱洗浄など給食関係業務委託費</li> <li>江別市学校給食会運営費への補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配膳員等報酬費 59,836千円</li> <li>重油代 26,617千円</li> <li>電気料 16,174千円</li> <li>水道料 13,858千円</li> <li>学校給食配送業務委託料 84,120千円</li> <li>江別市学校給食会運営費補助金 20,569千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：校舎屋体耐震化事業

総務課 施設係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学校									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎・屋体の耐震診断調査の実施</li> <li>・耐震改修方法の検討（改修の必要性を含む）</li> <li>・耐震改修に要する概算工事費の算出</li> <li>・耐震診断の結果、耐震化が必要と診断された場合、実施設計、改修工事を段階的に実施</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地震による被害を最小限にとどめ、安全な教育環境を確保するための補強等の方法、内容を明らかにする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内小中学校	校	28	27	27	27
対象指標 2	全棟数	棟	105	102	104	103
活動指標 1	耐震化（改修、改築）を行う学校数	校	1	1	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	耐震性があるまたは補強済みの棟数	棟	89	89	90	90
成果指標 2	耐震化率	%	84.8	87.3	86.5	87.4
事業費 (A)		千円	45,452	506,279	2,439,142	2,739,078
正職員人件費 (B)		千円	20,842	20,314	14,083	14,079
総事業費 (A+B)		千円	66,294	526,593	2,453,225	2,753,157

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別太小学校校舎屋体改築工事 江別太小学校旧校舎解体工事 江別第一中学校校舎改築工事 江別第一中学校旧校舎解体工事 小学校屋体非構造部材耐震改修（3校） 中学校屋体非構造部材耐震改修（4校）	江別太小学校校舎屋体改築工事等 999,209千円 江別太小学校旧校舎解体工事 261,000千円 江別第一中学校校舎改築工事等 1,033,184千円 江別第一中学校旧校舎解体工事 223,000千円 小学校屋体非構造部材耐震改修 48,150千円 中学校屋体非構造部材耐震改修 61,310千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：遠距離通学送迎事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	遠距離通学が必要な児童生徒
手段（事務事業の内容、やり方）	登下校の予定時間に合わせ、委託先の会社がスクールバス及びスクールタクシーを運行し、児童生徒を送迎する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	居住する遠隔地から学校までの間を、安全に通学させる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	遠距離通学が必要な児童生徒数	人	144	138	141	128
対象指標 2						
活動指標 1	延べ運行時間数	時間	7,027	7,984	7,500	3,800
活動指標 2	利用児童生徒数	人	144	138	141	128
成果指標 1	事故等により、スクールバスを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	32,269	41,485	47,156	52,803
正職員人件費 (B)		千円	1,202	1,562	1,564	3,911
総事業費 (A+B)		千円	33,471	43,047	48,720	56,714

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	スクールバス及びスクールタクシーの運行。	・小学校 11,258千円 ・中学校 41,545千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	新運賃・料金制度により委託料の大幅な増加が予想されることから、スクールバスのほか、スクールタクシーの運行委託を並行して実施する。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止 廃止 その他					

事業名： 中文連・中体連各種大会参加補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略							
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト							
			プログラム							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市中学校文化連盟（中文連） 江別市中学校体育連盟（中体連）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市中学校体育連盟及び江別市中学校文化連盟に対して、大会に参加するための経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
各種大会や発表会に参加する経費等を補助することにより、中学生の文化活動や、体育活動の振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,989	3,899	3,901	3,883
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	11,416	8,791	11,030	11,139
活動指標 2						
成果指標 1	大会参加者数	人	3,156	3,147	3,155	3,031
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	11,416	8,791	10,739	11,139
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	13,019	10,354	12,304	12,703

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	中文連、中体連の各種大会や発表会に参加する経費の一部を補助する。 補助対象となる大会及び発表会 ・中文連の吹奏楽コンクール、演劇発表会等 ・中体連の市内大会、管内大会、北海道大会、全国大会	中文連参加補助金 8,482千円 中体連参加補助金 2,657千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：奨学資金貸付金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和41年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内在住の高校生
手段（事務事業の内容、やり方）	高等学校への修学意欲があるにもかかわらず経済的な理由により、修学困難な高校生に修学に必要な資金の一部を貸与する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	修学困難な高校生に教育を受ける機会を与える。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内在住の高校生数	人	4,406	4,048	4,585	4,394
対象指標 2						
活動指標 1	奨学資金申請者数	人	17	14	18	15
活動指標 2						
成果指標 1	奨学資金貸与認定者数	人	15	14	18	15
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,311	1,685	2,365	1,957
正職員人件費 (B)		千円	3,206	3,125	3,130	3,911
総事業費 (A+B)		千円	5,517	4,810	5,495	5,868

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	奨学資金の貸与	貸付金 1,800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：教育扶助

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内小中学校児童生徒の保護者
手段（事務事業の内容、やり方）	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に助成し、児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒保護者数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	就学援助認定者数	人	2,398	2,268	2,215	2,058
活動指標 2						
成果指標 1	就学援助認定率	%	24.7	24	23.9	22.6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	217,809	206,313	220,351	205,837
正職員人件費 (B)		千円	9,619	9,376	9,388	9,386
総事業費 (A+B)		千円	227,428	215,689	229,739	215,223

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、医療費等を支給する。	就学援助に必要な経費 205,837千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性(成果)

向上  
維持  
低下

○

事業名：特別支援学級通学付添費

学校教育支援室参事（特別支援教育）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学校の特別支援学級等の児童生徒の保護者。									
手段（事務事業の内容、やり方）									
公共交通機関又は自家用車で付添いをしている保護者に対し、経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
通学の付添をする児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校の特別支援学級等の児童生徒の保護者数	人	152	157	172	199
対象指標 2						
活動指標 1	通学付添費認定者数	人	53	53	68	58
活動指標 2						
成果指標 1	特別支援支援学級等通学付添費認定率	%	34.9	44	39.3	29.1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,507	1,020	2,062	1,607
正職員人件費 (B)		千円	1,202	1,172	782	782
総事業費 (A+B)		千円	2,709	2,192	2,844	2,389

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・通学付添費の一部を補助	・通学付添費：1,607千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
27年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：市内私立高校助成金

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内に私立高校を設置する学校法人
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市私立学校補助金交付要綱」に基づき、私立高校の特色ある教育を支援又は教材教具の充実を図るために必要な補助をする。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開し、特色ある教育が一層促進できるようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内の私立高校数	校	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標 2						
成果指標 1	市内の中学校卒業生のうち、市内の私立高校に入学する生徒の割合	%	9	8	9	9
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費 (B)		千円	401	391	391	1,173
総事業費 (A+B)		千円	6,401	6,391	6,391	7,173

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	市内私立高校に対し補助金を支出。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育を実施するための事業への補助金</li> <li>教材教具の整備事業への補助金</li> <li>その他教育委員会が必要と認める事業への補助金 6,000千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区子ども会）
手段（事務事業の内容、やり方）	江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動の提供、地域の各育成会の支援並びに、親子のふれあいのための普及活動や研修活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	青少年の健全育成を図ることを目的とした各地区子ども会事業への参加者数が増え、活動が活発化する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	子ども会の数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	878	878	878	878
活動指標 2						
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	372	387	330	330
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	36	45	40	40
事業費 (A)		千円	878	878	878	878
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	2,347	2,347
総事業費 (A+B)		千円	3,283	3,222	3,225	3,225

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>相撲大会の開催</li> <li>青少年キャンプ村への協力</li> <li>小中学生かるた大会の開催</li> <li>ドッチビー講習会の開催</li> <li>各地区青少年育成会との連携と協力</li> <li>会議等の開催</li> <li>活動団体の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	子ども会への補助金 878千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止 その他				



事業名：成人式開催事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
成人のつどい実行委員会 新成人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新成人が大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする集いの場を提供するため、新成人となる実行委員を募集し、内容などを企画したつどいを実施する。</li> <li>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市成人のつどい実行委員会に対してアトラクション出演謝礼、交歓会景品など成人のつどい開催に要する経費について補助金を支出する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
「成人のつどい」への参加を契機に、公民としての権利と義務を再認識し、自律ある社会人として自覚するようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	実行委員数	人	7	4	9	9
対象指標 2	新成人数	人	1,568	1,504	1,539	1,464
活動指標 1	補助金額	千円	220	220	220	220
活動指標 2						
成果指標 1	成人のつどい参加者数	人	1,044	1,053	1,077	1,100
成果指標 2	参加率	%	66.6	70	70	70
事業費 (A)		千円	478	481	493	505
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	2,081	2,044	2,058	2,069

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員の募集</li> <li>・実行委員会の開催</li> <li>・成人対象者の抽出</li> <li>・案内葉書の作成、発送</li> <li>・しおり、封筒の作成</li> <li>・成人のつどい（式典・交歓会など）の開催</li> <li>・活動団体の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人のつどいプログラム等印刷費 68千円</li> <li>会場使用料 133千円</li> <li>実行委員会への補助 220千円</li> <li>案内状発送料 84千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：発明教室開設事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
少年少女発明クラブ									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集し、専任指導員のもとのづくり教室を開講する。</li> <li>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、発明教室を円滑に運営する江別市少年少女発明クラブに対し補助金を支出する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
発明教室に参加することにより、科学技術への関心を高め、想像力を養うことと、集団活動や体験学習の経験を通して、豊かな創造性を身に付ける。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	対象クラブ数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	581	581	581	581
活動指標 2	開催回数	回	20	24	38	38
成果指標 1	作品展等応募、出品数（市内、全道、全国）	件	58	47	50	50
成果指標 2	延べ活動人数	人	512	434	600	600
事業費 (A)		千円	581	581	581	581
正職員人件費 (B)		千円	1,202	1,172	1,174	1,173
総事業費 (A+B)		千円	1,783	1,753	1,755	1,754

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から1月：製作教室</li> <li>・8月、9月：体験教室</li> <li>・夏冬休みの特別教室</li> <li>・夏冬の作品展示会</li> <li>・活動団体の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	発明教室実団体への補助 581千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市青少年のための市民会議
手段（事務事業の内容、やり方）	江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動並びに有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき活動費の一部を補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市民会議の活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上するようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民会議の会員数（個人）	人	236	269	236	236
対象指標 2	市民会議の会員数（団体）	団体	60	60	60	60
活動指標 1	補助金額	千円	129	129	129	129
活動指標 2						
成果指標 1	主催事業協力者数	人	95	81	85	85
成果指標 2	非行防止標語応募件数	件	1,141	3,267	3,270	3,000
事業費 (A)		千円	129	129	129	129
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	1,732	1,692	1,694	1,693

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成啓発などの標語募集</li> <li>・少年主張石狩地区大会江別代表者の選考</li> <li>・青少年善行賞の選定、表彰</li> <li>・街頭啓発の実施</li> <li>・会議等の開催</li> <li>・活動団体の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	市民会議への補助 129千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の小学校4年生から中学校3年生の児童・生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
自然体験事業として日常の生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を開設し1泊2日の日程で、大学生、高校生のボランティアサークルのリーダーの指導によりキャンプを行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢の交流と集団生活を通して規律のある生活態度・生活技術を学び子どもたちの協調性、社会性を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童および生徒数	人	7,326	7,095	6,373	6,169
対象指標2						
活動指標1	キャンプ村開催日数	日	5	5	5	5
活動指標2						
成果指標1	参加グループ数	グループ	121	121	125	125
成果指標2	青少年キャンプ村参加人数	人	686	698	700	700
事業費(A)		千円	821	821	874	771
正職員人件費(B)		千円	2,004	1,953	1,956	2,347
総事業費(A+B)		千円	2,825	2,774	2,830	3,118

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・8月上旬に江別市森林キャンプ場において、青少年キャンプ村を開設し1泊2日の日程で、大学生、高校生のボランティアサークルのリーダー指導によりキャンプを行う。	生活指導員謝礼 336千円 バス借上げ料 313千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：青少年文化賞顕彰事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
小学生以上24歳以下の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
各種コンクール等において優秀な成績をおさめる等、市内における芸術及び文化の振興に貢献した青少年に対し各賞を贈る。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
創造性豊かな芸術、文化に対する意識を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小学生以上24歳以下の市民	人	22,953	22,286	22,286	22,590
対象指標 2						
活動指標 1	審査会開催回数	回	3	2	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	受賞者数	人	13	14	11	13
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	215	216	188	188
正職員人件費 (B)		千円	1,202	1,172	1,174	1,173
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>1,417</b>	<b>1,388</b>	<b>1,362</b>	<b>1,361</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・教育機関、文化団体等に対し該当者の推薦依頼を行い、推薦があった中から表彰基準を満たしたものについて、受賞歴、コンクールの内容等を精査し庁議において協議の上、表彰者を決定する。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。	・楯代 188千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：問題行動対策事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。 ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子ども家庭課、警察などで構成する江別市指導連絡会などにより関係機関の連携を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,772	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	巡回街頭指導実施回数	回	447	476	440	440
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	17	17	17	17
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	38	32	40	35
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,382	6,407	6,619	4,882
正職員人件費 (B)		千円	3,206	6,250	5,868	5,867
総事業費 (A+B)		千円	9,588	12,657	12,487	10,749

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回街頭指導の実施</li> <li>祭典巡回指導の実施</li> <li>江別市指導連絡会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専任指導員等報酬 4,383千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性	当事業の健全育成担当指導員を生涯学習課青少年関連事業へ所管替える。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：いじめ・不登校対策事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・不登校の専用窓口を開設し、専任指導員が電話、面接相談に対応する。</li> <li>青年センターに臨床心理士を配置し、カウンセリングにあたる。</li> <li>不登校児童生徒を対象に、子ども家庭課とタイアップし、体験活動を主としたケア事業のほか、学習活動を主としたスポットケア事業を実施する。</li> <li>いじめ問題について、児童生徒が直接市教委へ訴える心のダイレクトメール事業を実施する。</li> <li>いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。</li> <li>ネットパトロール・ネットモラル普及啓発資料の配布を実施する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめが解消される。</li> <li>不登校の児童生徒が再登校できるようになる。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,772	9,441	9,274	9,111
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	82	93	80	90
活動指標 1	いじめ・不登校相談件数	件	54	38	55	40
活動指標 2	スポットケア・ケア事業開催回数	回	46	46	47	70
成果指標 1	いじめの解消率	%	99	100	100	100
成果指標 2	再登校率	%	20	26	25	25
事業費 (A)		千円	3,109	3,110	3,477	3,856
正職員人件費 (B)		千円	4,409	7,032	6,650	6,649
総事業費 (A+B)		千円	7,518	10,142	10,127	10,505

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・不登校電話相談窓口開設。</li> <li>臨床心理士による教育相談を実施。</li> <li>不登校児童生徒を対象に、ケア事業及びスポットケア事業を実施。</li> <li>心のダイレクトメール事業を実施。</li> <li>中学生サミットの開催。</li> <li>ネットトラブル対策・啓発の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専任指導員報酬等 2,572千円</li> <li>心のダイレクトメール事業経費 41千円</li> <li>中学生サミット開催経費 267千円</li> <li>ネットパトロール経費等 976千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性	インターネットによるトラブルやいじめの防止のため、啓発資料の作成・配布を実施する。	減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止 廃止 その他				

事業名：「心の教室」相談事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・相談員（カウンセリング講座修了者や教員経験者など相談業務に携わった経験者）を学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	相談員配置学校数	校	20	19	19	19
活動指標 2	延べ相談時間	時間	5,257	5,312	5,570	5,570
成果指標 1	延べ相談件数	件	15,377	15,943	15,370	15,940
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,403	5,526	5,660	5,660
正職員人件費 (B)		千円	401	2,344	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	5,804	7,870	7,225	7,224

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・小学校19校に心の教室相談員13名を配置し、児童、保護者、教育関係者の悩みや相談に対応する。	・心の教室相談員報酬 5,570千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				



事業名： ヤング・子育て電話相談事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
子育てテレホンとヤングテレホンを開設し、専門員による相談事業を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
相談することによる悩み・不安の軽減、解消。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	テレホン相談開設日数	日	244	243	244	243
活動指標 2	相談員数	人	12	12	12	10
成果指標 1	子育てテレホン相談件数	件	17	12	18	18
成果指標 2	ヤングテレホン相談件数	件	432	389	380	380
事業費 (A)		千円	891	905	951	951
正職員人件費 (B)		千円	1,202	1,172	782	782
総事業費 (A+B)		千円	2,093	2,077	1,733	1,733

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員による下記の電話相談を実施</li> <li>子育てテレホン：午前10時から正午まで</li> <li>ヤングテレホン：午後1時から午後5時まで</li> </ul> いずれも国民の休日を除き、毎週月曜日から金曜日まで	相談員謝礼 902千円 相談員研修旅費 49千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他		低下		

事業名：地域一体型学校の顔づくり事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト				
				プログラム				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2		補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内市立小・中学校
手段（事務事業の内容、やり方）	「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めるため、事業を行う小中学校に対し、事業費の一部を支援する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	家庭・地域が一体となって事業を展開し「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めることにより、教育の充実を図ることができるようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	28	27	27	27
対象指標 2						
活動指標 1	事業実践項目数	項目	39	40	39	39
活動指標 2						
成果指標 1	地域住民等の事業への参加人数	人	6,442	6,065	6,400	6,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,092	3,091	3,222	3,222
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	1,956
総事業費 (A+B)		千円	4,695	4,654	4,787	5,178

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	各学校の事業に要する経費の一部を学校配分予算として支出。	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の謝礼等 740千円</li> <li>消耗品購入費 1,900千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スクールカウンセラー事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・小中学校にカウンセラー（臨床心理士）を配置し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる（報酬は北海道負担）。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	配置学校数	校	10	9	9	9
活動指標 2	延べ相談時間	時間	1,342	1,173	1,080	1,008
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,555	1,564	1,550	1,560
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	89	80	81	81
正職員人件費 (B)		千円	401	2,344	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	490	2,424	1,646	1,645

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・中学校8校、小学校1校にスクールカウンセラー5名を配置し相談業務に当たる。	・配置校消耗品 81千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：小学校外国語活動支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	3 次世代に向けた住みよいえづくり				
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト	A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり				
				プログラム	② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小学校の児童									
手段（事務事業の内容、やり方）									
小学校における「外国語活動」など国際化に対応した授業を支援し、児童の基礎的・実践的な英語能力の向上のため、外国語指導助手を派遣する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
外国人とのコミュニケーションをとる機会を提供することにより、英語に慣れ親しむとともに、児童の基礎的・実践的コミュニケーション能力（聞く・話す）の向上を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内公立小学校の児童数	人	6,194	6,065	5,913	5,792
対象指標 2						
活動指標 1	小学校外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	3,010	3,025	3,383	4,200
活動指標 2						
成果指標 1	小学校英語の総授業時数のうち、外国語指導助手が授業に入った割合	%	100	100	100	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	14,979	15,016	20,900	21,296
正職員人件費 (B)		千円	3,206	3,125	3,912	4,693
総事業費 (A+B)		千円	18,185	18,141	24,812	25,989

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	児童の基礎的・実践的な英語能力の向上のため、小学校に外国語指導助手を派遣する。	外国語活動指導助手派遣費用 21,296千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	小学校の外国語活動の授業をこれまでの3～6年生に加え、1・2年生にも拡大し、全学年で実施とすることで、基礎的な英語能力のさらなる向上を図る。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止 廃止 その他					

事業名：社会人による教育活動等支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
文化・芸術など多岐にわたる分野の中から、幅広い専門的知識等を有する社会人を各教科の授業の中で講師として活用する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
児童生徒の学習意欲や興味等の向上、将来設計意識や職業観等の育成を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	社会人を活用した授業を申請した学校数	校	11	13	27	27
活動指標 2						
成果指標 1	社会人を活用した授業を実施した学校数	校	11	13	27	27
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	377	701	700	615
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	1,179	1,482	1,482	1,397

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	文化・芸術・体育・仕事など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を幅広く募り、各教科の授業や各種教育活動の講師として活用する。	報償費 615千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：特別支援教育推進事業

学校教育支援室参事（特別支援教育）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
支援員（特別支援教育補助員外）の配置、専門家チームの巡回相談等による学校や保護者への助言、研修会の開催による教員や補助員の能力向上及び保護者の理解啓発、その他環境整備等を通じて、支援を行なう									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
教員が児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて長期目標・短期目標を盛り込んだ個別の教育計画に沿って、適切な教育を行うことにより、対象児童生徒が生活や学習上の困難を改善・克服する									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒数	人	327	321	327	327
対象指標 2						
活動指標 1	巡回相談等実施回数	回	79	64	79	80
活動指標 2	支援員（特別支援教育補助員）の配置数	人	15	10	18	23
成果指標 1	通常学級で個別の教育支援計画を作成している学校の割合	%	64.2	16.2	65	70
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	24,641	21,578	28,875	31,602
正職員人件費 (B)		千円	6,012	5,860	5,868	5,867
総事業費 (A+B)		千円	30,653	27,438	34,743	37,469

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員（特別教育補助員等）の配置</li> <li>巡回相談員等の謝礼</li> <li>教育環境整備工事（段差解消工事等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員（特別教育補助員等）の報酬：26,139千円</li> <li>巡回相談員等の謝礼：456千円</li> <li>教育環境整備工事（段差解消工事等）：2,890千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：キャリア教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内公立中学校の生徒
手段（事務事業の内容、やり方）	連続3日間、生徒が事業所において職場体験する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	望ましい勤労観や職業観、自己の進路を選択する能力のほか、人間関係形成能力、コミュニケーション能力を育成する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	市内公立中学校の生徒数	人	3,528	3,376	3,361	3,319
対象指標2						
活動指標1	職場体験受け入れ事業所数	所	92	102	110	120
活動指標2						
成果指標1	原則連続3日間のキャリア教育参加生徒数	人	566	814	935	875
成果指標2	自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合	%	71	71	70	70
事業費 (A)		千円	287	388	679	776
正職員人件費 (B)		千円	3,206	3,125	3,130	3,911
総事業費 (A+B)		千円	3,493	3,513	3,809	4,687

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	市内公立中学校の生徒が事業所において連続3日間の職場体験を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナー研修経費 176千円</li> <li>職場体験実施に係る経費 600千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：学校給食食器更新事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小・中学校児童生徒等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市学校給食用食器検討委員会において、安心して提供できる学校給食用食器の選定について検討する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
安全、安心な食器で喫食することにより、楽しく食事し、豊かな心が育つ。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	食器等更新数	個	11,000	15,500	0	0
活動指標 2	検討委員会開催数	回	4	2	0	0
成果指標 1	食器破損率	%	5.49	6.1	5.49	5.49
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	391
総事業費 (A+B)		千円	1,603	1,563	1,565	391

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	安全、安心な食器を提供するため、食器についての情報収集を行う。	人件費のみ

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持		○			
低下					
改革方向性（成果）					



事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	3 次世代に向けた住みよいえべつづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト	A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり				
				プログラム	② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実				
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内小中学校に学習サポート教員等を派遣し、担当の教師と共に、授業中や長期休業中などの学習支援を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
児童生徒の勉学意欲が向上し、確かな学力の定着を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	学習サポート教員の登録人数	人	35	39	39	36
活動指標 2	学校支援地域本部ボランティアの登録人数	人	0	0	43	55
成果指標 1	学習サポート教員の年間派遣人数	人	35	39	39	36
成果指標 2	学校支援地域本部ボランティアの年間派遣人数	人	0	0	43	55
事業費 (A)		千円	8,133	8,175	9,317	9,341
正職員人件費 (B)		千円	3,206	3,125	3,130	3,911
総事業費 (A+B)		千円	11,339	11,300	12,447	13,252

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業等の学習支援</li> <li>長期休業期間（夏季及び冬季）の補充的な学習の支援</li> <li>中学校における放課後の補充的な学習の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援地域本部運営経費 1,763千円</li> <li>学習サポート教員派遣経費 7,578千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：子どものための読書環境整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の子どもとボランティア									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書教諭等と連携して多様な読書活動を企画・実施し、学校図書館サービスの改善・充実を図るため、学校への司書配置（巡回）を行う。</li> <li>・児童生徒の自ら学ぼうとする意欲を喚起し、学力の向上を後押しするため、児童生徒の朝読書や調べ学習、総合的な学習の時間などの学校が行う教育活動を支援する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が発達の段階に応じて読書の楽しさを知り、読書の幅が広がり、読書体験が深まるようになる。</li> <li>・児童生徒が読書活動を通じて生涯にわたり絶えず自発的に学ぼうとする意欲や習慣が身に付くようになる。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内小中学校数	校	27	27	27	27
対象指標 2						
活動指標 1	司書配置（巡回）学校数	校	6	15	9	9
活動指標 2						
成果指標 1	司書配置によって増加した貸出冊数	冊	2,042	8,236	5,000	5,000
成果指標 2	司書配置期間のボランティア活動回数	回	81	69	40	40
事業費 (A)		千円	3,839	5,126	5,264	5,465
正職員人件費 (B)		千円	802	1,172	2,738	2,738
総事業費 (A+B)		千円	4,641	6,298	8,002	8,203

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書による学習支援</li> <li>・支援司書による学習支援</li> <li>・学校司書による学校図書館の環境整備への支援</li> <li>・学校図書館ボランティアとの協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員報酬（学校司書3人、支援司書1人）5,188千円</li> <li>・団体貸出用図書、朝読書・調べ学習用図書購入費100千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：食育推進事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の小中学校児童生徒等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市学校給食食育運営委員会において取りまとめた「江別市の公立小中学校における食育の推進」により示した方向性に従い、学校が進める食育に関する活動及び事業に対して、必要な指導、援助を行う。 栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食事の重要性を理解し、食事の自己管理能力や食品を選択する能力を身に付けることによって、豊かで健全な食生活を実践することができる人間が育つ。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	運営委員会開催数	回	3	0	1	0
活動指標 2	栄養教諭による「食に関する指導」実施学級数	学級	302	302	302	302
成果指標 1	朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	84.4	83.4	84.4	84.4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	3,206	1,563	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	3,206	1,563	1,565	1,564

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。	人件費のみ

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：児童生徒体力向上事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	3 次世代に向けた住みよいえつづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト	A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり				
				プログラム	② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
体力向上のための調査研究や実践を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
児童生徒の体力・運動能力の現状を把握し、学校における体育・健康に関する指導の充実及び児童生徒の体力向上を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	体力向上に取り組んだ回数	回	39	33	38	33
活動指標 2						
成果指標 1	児童生徒で体力が向上した割合	%	67	75	70	70
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	420	661	636	636
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	2,347	2,347
総事業費 (A+B)		千円	2,825	3,005	2,983	2,983

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1校をモデル校とし、基礎的な動きを組み入れた運動を継続的に行える体力向上のための取り組みを行い、その効果の検証を行う。</li> <li>・江別市体力向上「朝運動プログラム」事業普及のための出前授業を市内小学校にて行う。（平成25年度から開始）</li> <li>・小学校1校をモデル校として、正しい走り方を実際に体を動かして習得する「走り方教室」を行う。</li> </ul>	北翔大学への委託料 636千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：北海道中学校水泳大会補助金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
全道中学校水泳大会事務局									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、全道中学校水泳大会事務局に対して、必要経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
中学生体育活動の振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	事務局数	箇所	1	1	0	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	0	150	0	150
活動指標 2						
成果指標 1	大会参加者数	人	0	607	0	607
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	150	0	150
正職員人件費 (B)		千円	0	781	0	782
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>931</b>	<b>0</b>	<b>932</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	中学校水泳の全道大会が当市で開催されるにあたり、その運営に係る経費を補助する。 ・開催期間 平成27年7月下旬～8月上旬（予定） ・開催場所 野幌総合運動公園	全道中学校水泳大会事務局への補助金 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				○
廃止 その他				
		改革方向性（成果）	向上	
			維持	
			低下	

事業名：特別支援教育就学奨励費

学校教育支援室参事（特別支援教育）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学校特別支援学級及び通級指導教室に通学する児童生徒の保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
特別支援教育就学奨励費が必要な保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、通学費等を支給する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
経済的な理由で児童生徒の就学に必要な経費を捻出することが困難な保護者を助成することにより、児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校特別支援学級及び市内小中学校通級指導教室等に通学する児童生徒の保護者	人	222	234	232	288
対象指標 2						
活動指標 1	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	110	123	147	158
活動指標 2						
成果指標 1	特別支援教育就学奨励費認定率	%	49.5	52.6	63.3	54.9
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,713	3,263	5,161	5,574
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	2,348	2,346
総事業費 (A+B)		千円	6,118	5,607	7,509	7,920

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 ※「要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金要綱」に基づき市支出（補助対象経費）の2分の1が補助される。	・給食費、修学旅行費、学用品費等 小学校 2,751千円 中学校 2,823千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スクールソーシャルワーカー事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を抱える児童生徒の置かれている環境への働きかけ</li> <li>・学校や関係機関との連携や調整</li> <li>・保護者や学校等に向けて、予防的な情報提供、相談支援</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童生徒、保護者の抱える問題が解決される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,274	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	2	2	2	2
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	618	990	700	990
成果指標 1	支援ケース件数	件	30	54	30	55
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,483	4,462	4,464	4,476
正職員人件費 (B)		千円	802	2,344	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	5,285	6,806	6,029	6,040

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・スクールソーシャルワーカーが、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や経験を用いて、問題を抱える児童生徒に対して相談支援を行う。	・スクールソーシャルワーカー報酬 4,392千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名： 中文連・中体連負担金補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市中学校文化連盟（中文連） 江別市中学校体育連盟（中体連）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、市内中文連、中体連に対し、必要経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
心身の健やかな発達をめざし、各種大会を実行するための中文連・中体連の組織の健全な運営を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,989	3,899	3,901	3,883
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,237	1,441	1,444	1,437
活動指標 2						
成果指標 1	中体連・中文連大会開催数	回	17	17	17	17
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,237	1,441	1,444	1,437
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	2,039	2,222	2,226	2,219

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	市内中文連、中体連が負担する石狩管内中学校文化連盟の負担金及び石狩管内中学校体育連盟の負担金を補助する。	・市内中学校文化連盟負担金 388千円 ・市内中学校体育連盟負担金 1,049千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止 廃止 その他				



事業名：全国中体連体操競技支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	平成26年度	終了年度	平成27年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
全国中体連体操競技の江別市実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、全国中体連体操競技の江別市準備委員会に対し、必要経費の一部を補助する。 ・平成26年度は準備委員会に対する支出 ・平成27年度は実行委員会に対する支出 ・成果（大会の円滑な実施）は平成27年度に表れる									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
中学生体育活動の振興を図る									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	全国中体連体操競技の江別市準備（実行）委員会数	箇所	0	0	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	1,500	2,500
活動指標 2						
成果指標 1	大会参加者数	人	0	0	0	143
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	1,500	2,500
正職員人件費 (B)		千円	0	0	782	2,347
総事業費 (A+B)		千円	0	0	2,282	4,847

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	中学校体操競技の全国大会が当市で開催されるにあたり、その準備・運営に係る経費の一部を補助する。 ・開催期間 平成27年8月中旬予定 ・開催場所 野幌総合運動公園	実行委員会への補助金 2,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別小学校・江別第三小学校統合校建設事業 総務課 施設係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
H28年4月に統合する江小・三小統合校が使用する校舎									
手段（事務事業の内容、やり方）									
三小の現校舎位置に新校舎を建設するために、実施設計、プール解体、仮設校舎建設、既設校舎解体、改築工事、外構工事を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
統合に向けて、教室不足の解消、耐震化されていない校舎の改築を行う。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	統合校の校数	校	0	0	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	事業費	千円	0	0	305,000	373,971
活動指標 2						
成果指標 1	改築した学校数	校	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	305,000	373,971
正職員人件費 (B)		千円	0	0	9,389	7,822
総事業費 (A+B)		千円	0	0	314,389	381,793

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別第三小学校校舎解体工事 江別第一小学校校舎新築工事	江別第三小学校校舎解体工事 51,364千円 江別第一小学校校舎新築工事 309,912千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：公民館管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公民館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度による施設の管理運営									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、地域に密着した社会教育の中心施設となる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	78,894	78,619	89,483	90,935
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	220,783	226,557	220,000	220,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	80,150	80,371	91,383	92,835
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	2,347	2,347
総事業費 (A+B)		千円	82,555	82,715	93,730	95,182

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設及び物品の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 90,935千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：図書館運営管理事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	情報図書館
手段（事務事業の内容、やり方）	情報図書館の運営管理に要する経費
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が図書館を安全・快適に利用できる。</li> <li>・施設が適切に運営管理される。</li> </ul>

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2	施設数（学校図書館地域開放事業）	施設	1	1	1	1
活動指標 1	年間開館日数（全館）	日	292	291	292	292
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	64,277	65,876	69,259	71,347
成果指標 1	年間資料貸出利用者数	人	210,761	208,559	207,900	207,000
成果指標 2	年間資料貸出冊数	冊	883,742	864,067	893,900	890,400
事業費（A）		千円	64,277	65,876	69,259	71,347
正職員人件費（B）		千円	32,866	32,033	32,078	31,288
総事業費（A+B）		千円	97,143	97,909	101,337	102,635

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・江別市情報図書館の運営管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員報酬、臨時職員賃金 39,432千円</li> <li>・燃料費、光熱水費 11,522千円</li> <li>・清掃等施設管理委託料 16,734千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：図書館資料整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民及び市内に通勤・通学している人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館で作成した収集方針に沿って資料を収集する。</li> <li>・月1回選書会議を行い購入する図書を選定する。</li> <li>・相互貸借により資料を提供し補完する（道立図書館・全国公共図書館・道内外の大学図書館等）。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
時代の趨勢や地域性を常に意識し、幅広いニーズに応えられるような資料の収集と提供を図ることにより、図書資料等に対する市民の関心が高まり、より多くの市民が図書資料等を利用するようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	資料購入冊数	冊	10,849	10,971	10,600	10,200
活動指標 2						
成果指標 1	市民一人当たりの貸出冊数	冊	7.3	7.2	7.4	7.4
成果指標 2	予約件数（リクエストによるものを含む）	件	94,162	97,619	96,000	97,000
事業費 (A)		千円	22,050	21,978	22,050	21,000
正職員人件費 (B)		千円	3,607	3,516	3,521	3,520
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>25,657</b>	<b>25,494</b>	<b>25,571</b>	<b>24,520</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	図書館の運営に必要な図書・雑誌・視聴覚資料の整備に係る経費	雑誌・新聞・その他逐次刊行物購入費 4,000千円 図書資料購入費 17,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：旧町村農場管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	旧町村農場
手段（事務事業の内容、やり方）	指定管理者制度による施設の管理運営
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	適切な維持管理及び運営のもと、江別市における酪農の歴史を伝える場となる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	6,738	6,738	6,931	6,931
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	11,946	10,793	8,000	8,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	7,453	7,012	7,221	7,563
正職員人件費 (B)		千円	2,004	1,953	1,956	2,738
総事業費 (A+B)		千円	9,457	8,965	9,177	10,301

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 6,931千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性		改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持		向上			
見直し		維持			○
新規		低下			
休止					
廃止					
その他					

事業名：体験・ボランティア活動支援センター運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市体験活動・ボランティア活動支援センター
手段（事務事業の内容、やり方）	江別市体験活動・ボランティア活動支援センター会議を開催し、体験活動事業を企画する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	地域・学校・家庭と連携し、地域教育力の向上を図る活動を行う。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	コーディネーター数	人	8	10	10	10
対象指標2						
活動指標1	センター会議開催回数	回	4	4	4	4
活動指標2						
成果指標1	コーディネーター活動延回数	回	44	52	80	80
成果指標2						
事業費(A)		千円	87	104	173	173
正職員人件費(B)		千円	1,202	1,172	1,174	1,173
総事業費(A+B)		千円	1,289	1,276	1,347	1,346

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動ボランティア活動支援センター会議開催</li> <li>地域・学校・家庭が連携した体験活動事業の企画</li> <li>当センター以外が実施する体験活動事業への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動センターコーディネーター謝礼等 155千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：学社融合（地域間交流・体験活動）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学生、保護者</li> <li>・地域住民</li> </ul>	
手段（事務事業の内容、やり方）	
地域・学校・家庭と連携を図りながら、地域間や異世代との交流による体験活動を、子どもたちに提供する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、地域・学校・家庭が連携することにより、教育力の向上が図られる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒数	人	9,722	9,441	9,441	9,111
対象指標 2						
活動指標 1	実施事業数	事業	5	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	144	150	160	160
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	323	247	386	506
正職員人件費 (B)		千円	2,004	1,953	1,956	2,738
総事業費 (A+B)		千円	2,327	2,200	2,342	3,244

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・体験活動事業の実施	・学社融合事業開催に係る経費 506千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
27年度への改善方向性	体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、未来を担う人材育成を図るため、市内全小学校を対象とした事業を展開する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						



事業名：情報図書館コンピュータ学習室事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	20歳以上の市民
手段（事務事業の内容、やり方）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者パソコン教室等の開催</li> <li>・インターネット体験のためのコンピュータ学習室開放の実施（毎月第1・第3土、日曜日）</li> </ul>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	パソコン教室等の実施により、パソコンに慣れ親しみ、パソコンを情報収集や伝達などに利用できる市民が増える。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	20歳以上の市民	人	99,908	99,785	99,785	99,776
対象指標2						
活動指標1	各種パソコン講習会開催数	回	47	42	62	62
活動指標2	インターネット体験の実施日数	日	50	48	50	48
成果指標1	各種パソコン教室受講者数	人	340	317	620	620
成果指標2	コンピュータ学習室利用者数(延べ利用者数)	人	3,339	3,167	3,186	3,167
事業費(A)		千円	192	191	405	383
正職員人件費(B)		千円	5,611	5,469	5,477	3,911
総事業費(A+B)		千円	5,803	5,660	5,882	4,294

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	初心者PC教室 49回 EPOC講習会 12回 はじめてのパソコン講習会 1回	パソコンボランティア謝礼等 74千円 コンテンツフィルタリング保守費用 137千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
27年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：情報図書館展示室事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
展示室で、普段目に触れる機会の少ない図書資料などの展示会を企画する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
展示会を開催することにより、図書館への関心が高まり、より多くの市民が図書館の活動に関心を持ち足を運ぶようになる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	展示会開催数	回	4	3	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	展示室入場者数	人	1,344	1,620	1,100	1,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	110	90	100	150
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	1,713	1,653	1,665	1,714

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・展示会の開催 「星のおはなし展」、「三浦綾子展」、「しかけ絵本と大型絵本展」	展示会資料借受謝礼 20千円 展示会用消耗品費 80千円 展示会資料借受料 50千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			減少	維持	増加
				○	

事業名：家庭教育（青空子どもの広場）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内の2歳半～5歳児とその親
手段（事務事業の内容、やり方）	青空子どもの広場を開催する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	子どもは豊かな心や協調性を、保護者はしつけのあり方や家庭教育について学び、教育力が向上する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	3～5歳児の市民の数	人	2,540	2,487	2,487	2,502
対象指標 2						
活動指標 1	事業開催回数	回	44	51	51	31
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	1,074	576	1,100	660
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	588	670	694	422
正職員人件費 (B)		千円	2,004	1,953	1,956	1,564
総事業費 (A+B)		千円	2,592	2,623	2,650	1,986

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・青空子どもの広場を市内3地区（1地区10回）で開催。絵本の読み聞かせやリズム体操、子育てに関係した講演会を実施。	・青空子どもの広場開催に係る経費 422千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	子育て支援事業の充実により、家庭教育事業に関する事業も多数開催されていることから、本事業においては3地区での開催は維持し、会場を5→3会場とする。家庭教育の学習の機会を充実させるべく、小中学生とその親を対象とした事業（学社融合事業等）を実施する。		減少	維持	増加
維持					
見直し			○		
新規					
休止 廃止 その他					

事業名： 蒼樹大学事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
65歳以上の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
蒼樹大学を開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高齢者一人ひとりが生きがいを見出し、地域社会で生かすことのできる知識や技術を獲得する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民の数	人	28,949	30,240	30,240	31,518
対象指標 2						
活動指標 1	講座開催数	回	62	61	62	62
活動指標 2						
成果指標 1	学生数	人	137	165	137	173
成果指標 2	出席率	%	86	85	80	80
事業費 (A)		千円	641	657	665	675
正職員人件費 (B)		千円	2,004	1,953	1,956	1,956
総事業費 (A+B)		千円	2,645	2,610	2,621	2,631

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者学級である蒼樹大学を開催する。</li> <li>・5～3月間に毎月1、2回学習会を開催。午前は現代的課題や歴史等を全体で学ぶ教養講座、午後は選択制の専攻講座を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒼樹大学開催に係る経費 675千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：情報図書館視聴覚ライブラリー事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
学校、社会教育関係団体等および一般市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクターなどの機器は、学校や社会教育関係団体等からの申請により貸出しする。</li> <li>・ビデオソフトなどの教材は、個人へも貸出しを行っている。</li> <li>・視聴覚教育に必要な機器と教材の充実を図るとともに、活用を奨励するために、毎月「図書館だより」と「じどうしつだより」を発行し、小中学校、幼稚園、保育園などに送付している。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や社会教育関係団体等が視聴覚教材を学習の補助教材として活用することにより、学校の教育活動の充実と市民の社会教育活動の振興が図られる。</li> <li>・より多くの市民が、自ら関心のある事柄について学習するようになる。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	ライブラリー機器の数	点	19	19	19	19
活動指標 2	ライブラリー教材の数	点	2,130	2,162	2,037	2,157
成果指標 1	利用者数	人	3,014	3,588	3,100	3,100
成果指標 2	貸出件数	回	2,871	3,450	3,000	3,000
事業費 (A)		千円	613	834	686	771
正職員人件費 (B)		千円	4,008	3,907	3,912	2,347
総事業費 (A+B)		千円	4,621	4,741	4,598	3,118

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育関係団体等への視聴覚機器の貸出</li> <li>・個人への教材の貸出</li> <li>・教材用DVDの購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出用ビデオ、DVD教材の購入 650千円</li> <li>・貸出用機器の修繕 30千円</li> <li>・スクリーン購入費 91千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：読書普及活動事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会、各種講演会などの開催。</li> <li>・ボランティア支援のための講習会等の実施。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会を通して、幼児・児童の読書に対する興味が喚起される。</li> <li>・おはなし会や人形劇などを行うボランティア団体の活動が活性化される。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	図書館主催おはなし会など開催回数	回	314	341	320	330
活動指標 2						
成果指標 1	読書普及事業の参加人数	人	4,330	4,364	4,200	4,300
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	420	456	496	490
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	2,023	2,019	2,061	2,054

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本館及び分館でのおはなし会の開催。</li> <li>・子どもの読書週間に合わせた講演会の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会等講師謝礼 400千円</li> <li>おはなし会用消耗品費 90千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：青少年ふれあい交流促進事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略							
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト							
			プログラム							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
社会教育の振興・発展及び地域活動団体の育成・促進を目的とする市内の団体及び地域等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
交流事業、体験学習事業、ボランティア事業、非行防止事業、音楽文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき事業費の一部を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
各団体等が独立して活動を行うことにより、社会教育の充実が促進される。また、地域社会との協働により、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを図る。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	地域交流活動補助対象事業数	団体	4	7	8	14
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	180	200	200	400
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	656	2,283	2,000	3,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	180	200	200	400
正職員人件費 (B)		千円	401	391	391	782
総事業費 (A+B)		千円	581	591	591	1,182

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	社会教育の振興及び地域活動団体の育成・促進を目的とする市内の団体及び地域などが、学校と連携して自主的に企画・運営する青少年健全育成事業及び青少年音楽振興事業に対し「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき事業費の一部を支援する。	・青少年ふれあい交流事業実施団体への補助金 400千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>			
27年度への改善方向性	「子どもを見守る地域ふれあい事業」と統合し、社会教育の振興・発展及び地域活動団体の育成・促進を継続して支援する。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					
新規					○
休止					
廃止					
その他					

事業名：えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり		
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり		
				プログラム	② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進		
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	高校生以上の市民
手段（事務事業の内容、やり方）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと江別塾」の開催</li> <li>・えべつ市民カレッジの開催</li> </ul>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	知的資源を有する市内大学等と連携し市民の様々な学習要求に応えることにより、まちづくりに参画していくための問題意識と知識を獲得する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	高校生以上の市民	人	105,640	106,660	105,408	105,175
対象指標 2						
活動指標 1	連携団体数	団体	4	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	えべつ市民カレッジ講座数	講座	0	8	30	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	193	204	216	385
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	2,347	3,129
総事業費 (A+B)		千円	1,796	1,767	2,563	3,514

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内四大学と連携を図りながら、各大学を会場とした「ふるさと江別塾」を開催する。</li> <li>・「ふるさと江別塾」と大学自主公開講座を「えべつ市民カレッジ」として総合的に情報提供する。</li> <li>・学びの成果を実感でき、市民の参加意欲の向上を図るための方策を実施する。</li> <li>・自治会回覧等周知方法を拡充する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと江別塾開催に係る経費 167千円</li> <li>・えべつ市民カレッジに係る経費 218千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	市民カレッジ手帳を作成し、受講数により修了証を授与する等、学びの成果を実感できるよう仕組みづくりを行い、市民の参加意欲の向上を図る。また、自治会回覧等により一層の市民周知を図る。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					
廃止					
その他					



事業名：コミュニティセンター管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
コミュニティセンター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度による施設の管理運営									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、市民相互のふれあいのなかで地域経済活動の促進を図り、地域づくりの拠点となる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	14,818	14,636	16,606	16,856
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	172,467	190,190	220,000	220,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	14,818	14,636	16,606	16,856
正職員人件費 (B)		千円	2,004	1,953	1,956	1,956
総事業費 (A+B)		千円	16,822	16,589	18,562	18,812

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・ 指定管理協定の締結	・ 指定管理料 16,856千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：社会教育団体支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市女性団体協議会、江別市PTA連合会、江別市聚楽学園、江別市生涯学習推進協議会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」へ補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
各社会教育団体が独立して活動を行うことにより、社会教育活動が活性化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	補助団体数	団体	0	0	4	4
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	円	0	0	2,538	2,538
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	0	0	4,800	4,800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	2,538	2,538
正職員人件費 (B)		千円	0	0	4,694	4,693
総事業費 (A+B)		千円	0	0	7,232	7,231

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」へ補助金を交付	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別市女性団体協議会への補助金 400千円</li> <li>江別市PTA連合会への補助金 368千円</li> <li>江別市聚楽学園への補助金 770千円</li> <li>江別市生涯学習推進協議会への補助金 1,000千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 図書館運営管理事業（江別太小学校図書館地域開放事業）

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別太小学校区住民
手段（事務事業の内容、やり方）	平成27年度、夏休み明けの江別太小学校改築に合わせ、小学校図書館を地域に開放する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	地域住民の利便性が向上し、利用者の掘り起こしと貸出冊数の増加につながり、生涯学習の機会や情報の提供に寄与することができる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	施設数（学校図書館地域開放事業）	施設	0	0	0	1
対象指標2						
活動指標1	年間開館日数	日	0	0	0	62
活動指標2	運営・維持管理経費	千円	0	0	0	15,419
成果指標1	年間資料貸出利用者数	人	0	0	0	5,390
成果指標2	年間資料貸出冊数	冊	0	0	0	17,100
事業費(A)		千円	0	0	0	15,419
正職員人件費(B)		千円	0	0	0	3,911
総事業費(A+B)		千円	0	0	0	19,330

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別太小学校図書館の地域開放準備経費、運営経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員報酬 1,981千円</li> <li>・システム整備費 2,996千円</li> <li>・図書館家具購入費 830千円</li> <li>・図書資料購入費 9,250千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	平成24年10月に策定した江別太小学校改築基本構想・基本計画に基づき、地域住民等から要望のあった学校図書館の開放を行うことで、生涯学習の機会や情報の提供に寄与する。		減少	維持	増加
維持		向上			○
見直し		維持			
新規		低下			
休止 廃止 その他					

事業名： ガラス工芸館管理運営経費

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガラス工芸館</li> <li>・ ガラス工芸家</li> </ul>	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の管理運営</li> <li>・ ガラス工芸家の創作活動公開への対応</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、創作工芸の分野における文化の振興に資する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	敷地面積	㎡	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標 2	延床面積	㎡	242.72	242.72	242.72	242.72
活動指標 1	開館日数	日	57	58	58	58
活動指標 2						
成果指標 1	来館者数	人	1,590	1,734	1,600	1,600
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,295	2,269	2,469	2,480
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	3,097	3,050	3,251	3,262

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・ ガラス工芸館の管理運営	・ 管理運営経費 2,480千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：セラミックアートセンター企画展開催事業 主査（セラミックアートセンター）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「れんがとやきもののまち・江別」を市民間に共有のイメージとして意識してもらうこと、また芸術・文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品等の企画展を開催し、市民に芸術・文化の鑑賞の場を提供する。</li> <li>・市内関係機関や道内外の美術館・博物館などにポスターやチラシ等を頒布し、周知する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの市民（来館者）に観覧してもらうことで、「れんがとやきもののまち・江別」のイメージをより広く共有し、市民の文化意識の高揚を図る。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	企画展開催数	回	3	3	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	企画展入場者数	人	3,354	1,956	3,000	2,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,728	2,812	6,945	2,197
正職員人件費 (B)		千円	4,810	4,688	5,868	5,867
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>10,538</b>	<b>7,500</b>	<b>12,813</b>	<b>8,064</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「（仮称）日本クラフトデザイン展inえべつ」ほか計3回の企画展を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）日本クラフトデザイン展inえべつの開催経費 1,691千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：セラミックアートセンター管理経費 主査（セラミックアートセンター）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
セラミックアートセンター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラミックアートセンターの管理運営に要する経費。</li> <li>・小森忍および道内作家、れんが資料の収集、展示。</li> <li>・陶芸を中心とした展覧会の開催、各種陶芸教室・講座等の適正な管理運営。工房、窯等の貸し出し。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適かつ安全に利用してもらう。</li> <li>・多くの市民に利用してもらうことで、「れんがとやきもののみち・江別」のイメージの共有を図る。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	開館日数	日	303	304	303	304
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	38,613	39,545	38,191	40,677
成果指標 1	利用者数	人	19,982	19,285	20,000	20,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	38,612	39,545	38,191	40,677
正職員人件費 (B)		千円	7,214	7,032	6,259	6,258
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>45,826</b>	<b>46,577</b>	<b>44,450</b>	<b>46,935</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラミックアートセンターの維持管理</li> <li>・小森忍および道内作家、れんが資料の収集・展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員報酬および臨時職員賃金 6,532千円</li> <li>・暖房用重油代等燃料費 4,310千円</li> <li>・電気代等光熱水費 5,205千円</li> <li>・維持管理関係委託料 21,222千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：子どもの文化活動育成事業（土曜広場）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域資源を活用し、日本文化に対する理解を深め、子どもの文化芸術活動が拡充する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	推進委員数	人	13	13	13	13
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	860	860	860	900
活動指標 2						
成果指標 1	開催学校数	校	17	17	17	18
成果指標 2	参加者数	人	795	822	814	814
事業費 (A)		千円	860	860	860	900
正職員人件費 (B)		千円	2,004	1,953	1,956	1,956
総事業費 (A+B)		千円	2,864	2,813	2,816	2,856

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが土曜日をより良く過ごせるよう地域の専門的な指導者及び運営に係るボランティアの協力により、市内各小学校の施設を活用し、子どもたちが普段学校で学ぶことの少ない日本の伝統的文化活動を体験・学習する機会を提供する</li> <li>市内小学校18か所</li> <li>月2回土曜日午前中（10回程度／1校）</li> <li>活動種目 囲碁・茶道・手芸・百人一首など20種類程度</li> </ul>	補助金 900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：市民文化ホール管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民文化ホール									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度による施設の管理運営									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、市民の芸術文化活動の発展を図り、心豊かなまちづくりに寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	51,716	51,537	49,220	50,400
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	56,222	59,078	58,000	58,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	51,877	52,066	50,061	50,856
正職員人件費 (B)		千円	2,004	1,953	1,956	1,956
総事業費 (A+B)		千円	53,881	54,019	52,017	52,812

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設及び物品の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 50,400千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：江別市文化協会補助金（文化協会事業）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	NPO法人江別市文化協会
手段（事務事業の内容、やり方）	NPO法人江別市文化協会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発に行われ、広く市民にその活動が浸透し、新たな活動領域の出現や団体等の形成、会員の増加を促進する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	江別市文化協会加盟会員数	人	2,404	2,406	2,418	2,356
対象指標2	加盟団体数	団体	108	115	110	114
活動指標1	補助金額	千円	350	350	350	350
活動指標2						
成果指標1	主催・支援事業数	件	19	18	25	25
成果指標2						
事業費(A)		千円	350	350	350	350
正職員人件費(B)		千円	802	781	782	782
総事業費(A+B)		千円	1,152	1,131	1,132	1,132

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	対象事業 ①研修事業（文化講演会等）、②団体活動育成事業、③顕彰事業（芸術文化賞、同功労賞）、④広報事業（「光彩」の発行、ホームページ更新・管理）、⑤調査研究事業	補助金 350千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
27年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：文化振興奨励事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
対象の個人・団体に対し、全国大会等出場奨励金を支給する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
活動を行う個人や団体が奨励金の支給を受け、さらなる意欲の向上が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	奨励金支給個人数	人	12	7	4	4
活動指標 2	奨励金支給団体数	団体	2	1	2	2
成果指標 1	入賞個人数	人	2	0	4	4
成果指標 2	入賞団体数	団体	2	1	2	2
事業費 (A)		千円	320	170	240	240
正職員人件費 (B)		千円	401	391	391	391
総事業費 (A+B)		千円	721	561	631	631

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人：10,000円以内、本市に在住していること（就学前の者を除く）</li> <li>団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額）、本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民により組織されていること（就学前のものを除く）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国大会等出場奨励金 240千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他		低下		

事業名：江別音楽協会補助金

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別音楽協会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別音楽協会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内の学校や音楽団体の水準向上と人材育成を図り、市民の音楽文化に対する関心を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	構成人員数	人	570	570	550	550
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	900	900	900	900
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	1,500	1,972	2,984	2,984
成果指標 2	事業への来場者数	人	2,767	2,886	1,769	1,769
事業費 (A)		千円	900	900	900	900
正職員人件費 (B)		千円	401	391	391	391
総事業費 (A+B)		千円	1,301	1,291	1,291	1,291

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・「課題曲講習会」「夏の演奏会」「冬の演奏会」「アンサンブルコンテスト」の開催	・補助金 900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：発表の場拡大事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内の芸術文化連合団体に加盟する団体等
手段（事務事業の内容、やり方）	申請のあった団体の発表活動に要する施設基本使用料（原則として附属設備使用料は除く）を補助する。 ◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	関係団体が実施している自主的・創造的な発表活動が活発化し、市民の鑑賞機会が拡充する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	文化・芸術連合団体に加盟する団体数	数	123	115	128	128
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	500	500	500	500
活動指標 2						
成果指標 1	制度を利用した発表回数	回	13	12	13	13
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	477	468	500	500
正職員人件費 (B)		千円	401	391	391	391
総事業費 (A+B)		千円	878	859	891	891

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・申請のあった団体の発表活動に要する施設基本使用料（原則として附属設備使用料は除く）を補助する。	・補助金 500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他		低下		

事業名：市民芸術祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	芸術文化の振興を目的とする市民組織
手段（事務事業の内容、やり方）	各実行委員会に補助金を交付する。 ◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動を創出する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	構成関係団体数	団体	3	2	3	3
対象指標 2	構成委員数	人	45	18	45	45
活動指標 1	補助金額	千円	1,400	1,600	800	1,000
活動指標 2						
成果指標 1	市民芸術祭の参加者数（参加者＋鑑賞者）	人	1,273	1,646	1,560	1,560
成果指標 2	開催事業数	回	4	3	2	3
事業費 (A)		千円	1,400	1,600	800	1,000
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	2,347	3,129
総事業費 (A+B)		千円	3,805	3,944	3,147	4,129

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>各実行委員会が行う次の3部門の市民創造型芸術文化事業とする。</li> <li>舞台部門（市民ミュージカル公演～3年に1回：次回H28）</li> <li>音楽部門（まちかどコンサート年2回）</li> <li>展示部門（市民美術展受賞者作品展～5年に1回：次回H29）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ミュージカル開催準備 400千円</li> <li>まちかどコンサート 600千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
27年度への改善方向性	H28開催の市民ミュージカル準備事業として、脚本制作、作曲を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持			○
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：北海道林木育種場旧庁舎維持管理経費

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	北海道林木育種場旧庁舎
手段（事務事業の内容、やり方）	（公社）シルバー人材センターに管理を委託し、施設利用者の把握、清掃などを行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	適正に維持管理される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	敷地面積	㎡	5,053.53	5,053.53	5,053.53	5,053.53
対象指標 2	延床面積	㎡	1,388.09	1,388.09	1,388.09	1,388.09
活動指標 1	開館日数	日	114	115	115	115
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	597	630	615	615
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,636	1,713	1,913	1,991
正職員人件費 (B)		千円	1,202	1,172	1,174	1,173
総事業費 (A+B)		千円	2,838	2,885	3,087	3,164

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・北海道林木育種場旧庁舎の管理運営	・維持管理経費 1,991千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：野幌太々神楽伝承会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略						
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市野幌太々神楽伝承会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市民団体として、市民への講演会や保存団体への支援を行う太々神楽の保存伝承活動に対し助成し、永く無形民俗文化財の保存に努める。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
指定文化財「野幌太々神楽」を永く保護保存するとともに、保存伝承活動を全市的活動に広げる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	構成員数	人	24	24	24	24
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	300	300	300	300
活動指標 2						
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	32	33	32	32
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	300	300	300	300
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	1,102	1,081	1,082	1,082

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別市野幌太々神楽伝承会の講演会等の保存伝承活動事業に対し、補助金を交付し助成する。	江別市野幌太々神楽伝承会への補助 300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：野幌太々神楽保存会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市指定文化財保存団体「野幌太々神楽保存会」
手段（事務事業の内容、やり方）	市指定文化財保持団体の保存伝承活動を助成し、永く無形民俗文化財の保存に努める。 ・「文化財保護条例」、「文化財保護条例施行規則」に基づき、指定文化財保護保存のため補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	指定文化財を適切に保護、保存する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	構成員数	人	190	190	190	190
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	150	150	150	150
活動指標 2						
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	35	35	35	35
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	150	150	150	150
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	952	931	932	932

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	市指定文化財「野幌太々神楽」の保持団体である「野幌太々神楽保存会」の保存伝承活動に対し、補助金を交付し助成する。	野幌太々神楽保存会への補助 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
27年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						



事業名：陶芸文化普及振興事業

主査（セラミックアートセンター）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸を中心とした企画展示事業の開催。</li> <li>・日曜陶芸体験、初級・中級等の教室や講座の開催。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの市民に陶芸体験の機会や鑑賞の機会を提供し、陶芸文化、ひいては芸術文化全般に対する市民意識の高揚を図る。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	展示事業数	回	4	3	5	4
活動指標 2	教室・講座等事業数	事業	32	28	20	26
成果指標 1	展示事業入場者数	人	3,705	4,183	4,000	4,000
成果指標 2	教室・講座等事業参加者数	人	3,438	5,740	3,500	3,500
事業費 (A)		千円	7,433	7,315	7,837	7,689
正職員人件費 (B)		千円	5,611	5,469	5,868	5,867
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>13,044</b>	<b>12,784</b>	<b>13,705</b>	<b>13,556</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「創作食器展」ほか計4回の展示会を実施</li> <li>・陶芸教室、陶芸体験、各種講座等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸指導員報酬 5,260千円</li> <li>・展示会実施経費 774千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：市民文化祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
NPO法人江別市文化協会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
NPO法人江別市文化協会に補助金を交付する ◎江別市教育振興事業補助金交付規則									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民文化祭を開催することにより、発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体のより積極的な活動が行われる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	文化協会構成団体数	団体	108	115	113	114
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	2,400	2,400	2,400	2,400
活動指標2						
成果指標1	参加者数（出演者＋来場者）	人	19,380	19,747	19,245	19,245
成果指標2						
事業費(A)		千円	2,400	2,400	2,400	2,400
正職員人件費(B)		千円	2,004	1,953	1,956	1,956
<b>総事業費(A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>4,404</b>	<b>4,353</b>	<b>4,356</b>	<b>4,356</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	市民芸術文化活動の活性化を図るため、5部門の舞際事業経費から事業収入を控除した額を補助する。 1. 部門別事業 ①舞台部門（子ども文化祭ほか9事業） ②展示部門（市民美術展ほか7事業） ③文芸部門（川柳大会ほか3事業） ④生活科学部門（茶会ほか3事業） 2. 総合芸術フェスティバル	・補助金 2,400千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				

事業名：芸術鑑賞招へい事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
芸術鑑賞機会の充実を目的とする市民団体									
手段（事務事業の内容、やり方）									
芸術文化鑑賞機会の充実を目的とする市内の芸術文化活動団体及びこれらの団体で構成する実行委員会等を対象に補助金を交付する。 ◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われる。</li> <li>・質の高い芸術鑑賞機会が増える。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	補助金交付市民団体数	団体	2	2	2	3
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	3,650	1,650	1,650	1,850
活動指標 2						
成果指標 1	鑑賞者数	人	907	1,140	1,742	1,742
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,650	1,650	1,650	1,850
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	1,173
総事業費 (A+B)		千円	4,452	2,431	2,432	3,023

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・プロの団体、個人を招へいし、質の高い舞台芸術公演を実施する。	・音楽関係公演 1,200千円 ・演芸関係公演 650千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	道内で活躍するプロの団体・個人を招へいし、低廉な料金でクラシック音楽を身近に感じられる公演の開催に対し支援を行う。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止 廃止 その他					

事業名：埋蔵文化財発掘調査事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和45年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
埋蔵文化財包蔵地（遺跡）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
1. 埋蔵文化財包蔵地のデータ管理及び詳細分布調査等の実施と、資料の整備・公開により、市民ほか関係者に周知する。 2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い発掘調査等の措置により、記録保存を行う。 3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費の積算や、国・道費との調整を図り、事業を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
埋蔵文化財を適切に保護、保存する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	埋蔵文化財包蔵地	カ所	142	142	142	142
対象指標 2						
活動指標 1	所在確認調査・試掘調査実施件数	件	5	6	3	3
活動指標 2	発掘調査実施件数	件	0	0	0	0
成果指標 1	埋蔵文化財保護件数	件	5	6	3	3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	235	126	505	368
正職員人件費 (B)		千円	4,008	3,907	5,086	5,084
総事業費 (A+B)		千円	4,243	4,033	5,591	5,452

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	1. 埋蔵文化財包蔵地の管理や詳細分布調査等の実施と、資料の整備・公開し、市民ほか関係者に周知する。 2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い、発掘調査等の措置により記録保存を行う。 3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費の積算や、国・道費との調整を図り、事業を実施する。	・ 確認調査掘削経費 300千円 ・ 車両経費 58千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
		向上	維持	低下

事業名：郷土資料館企画展開催事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
1. 郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。 2. 未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。 3. 展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民に郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらに、ふるさと意識の醸成を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	企画展開催数	回	2	2	2	2
活動指標 2	展示資料点数	点	209	852	0	0
成果指標 1	企画展入場者数	人	1,194	1,820	1,500	1,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	59	97	186	183
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	2,347	2,347
総事業費 (A+B)		千円	2,464	2,441	2,533	2,530

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・小中学校の夏休み・冬休みに合わせ、約1万8千点の民具等資料、考古資料約200万点の収蔵資料を広く市民に伝え、江別の歴史や文化に対する関心を深めてもらうため、年2回のロビー展を開催。	・展示協力等経費 30千円 ・展示印刷他経費 101千円 ・資料運搬経費 52千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：郷土資料デジタル化事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
郷土資料館収蔵等映像資料									
手段（事務事業の内容、やり方）									
フィルム等アナログ映像資料をデジタルデータに変換する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
デジタル化によって、劣化等による閲覧不可な状態を回避し、映像資料を永く後世に伝える。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	デジタル化対象資料数	点	0	20	20	20
対象指標 2						
活動指標 1	デジタル化実施資料点数	点	0	6	9	5
活動指標 2						
成果指標 1	デジタル化完了済資料点数	点	0	6	15	20
成果指標 2	デジタル化完了率	%	0	30	75	100
事業費 (A)		千円	0	215	168	164
正職員人件費 (B)		千円	0	1,172	1,174	1,173
総事業費 (A+B)		千円	0	1,387	1,342	1,337

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	指定文化財「野幌太々神楽」のフィルム等アナログ映像資料をデジタルデータに変換する。	・データ編集変換経費 164千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業 郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
郷土史を学ぶために各種講座を開催する。 ・子供学芸員カレッジ（小学生） ・再発見・江別探訪（一般） ・ふるさと歴史講座（一般） ・屯田兵講座（一般） ・歴史を学ぼう（小中学生・一般） ・夏休み歴史探検（小学生・保護者）									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民に郷土の歴史に対する理解を深めてもらう。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	事業開催回数	回	40	31	30	28
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	1,502	1,214	1,200	1,100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	208	265	320	315
正職員人件費 (B)		千円	4,409	4,297	4,303	4,302
総事業費 (A+B)		千円	4,617	4,562	4,623	4,617

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生向け講座「子ども学芸員カレッジ」（10回シリーズ）</li> <li>史跡・遺跡等をめぐる「再発見・江別探訪」（3回開催）</li> <li>江別の歴史・文化を学ぶ「ふるさと歴史講座」</li> <li>江別の開拓に貢献した屯田兵を学ぶ「屯田兵講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども学芸員カレッジ 152千円</li> <li>再発見・江別探訪 77千円</li> <li>ふるさと歴史講座 25千円</li> <li>屯田兵講座 13千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名： 屯田資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
屯田資料館 野幌屯田兵屋									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屯田資料館及び野幌屯田兵屋の維持管理並びに運営に要する経費。</li> <li>・ 道指定有形文化財「野幌屯田兵第二中隊本部」の保存管理と公開。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設が適切に管理運営され、江別に礎を築いた屯田兵に対する理解が深まる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	屯田資料館開館日数	日	64	66	62	64
活動指標 2	屯田兵屋開館日数	日	12	12	5	5
成果指標 1	屯田資料館来館者数	人	543	681	500	450
成果指標 2	屯田兵屋来館者数	人	1,059	464	450	200
事業費 (A)		千円	2,121	2,176	2,330	2,355
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	3,724	3,739	3,895	3,919

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	屯田資料館などの維持管理及び運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常勤職員報酬 601千円</li> <li>・ 保守管理委託経費 1,641千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：郷土資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
郷土資料館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
郷土資料館の維持管理に要する経費。 ・常設展・企画展など展示事業の適正な管理運営 ・講座等教育普及事業の適正な管理運営 ・郷土資料の収集・保存 ・郷土資料の調査研究									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・市民に江別の歴史を理解してもらう。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算	
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1	
対象指標 2							
活動指標 1	開館日数	日	303	304	303	304	
活動指標 2							
成果指標 1	来館者数	人	3,509	3,800	3,500	3,200	
成果指標 2							
事業費 (A)		千円	12,285	13,482	13,152	17,924	
正職員人件費 (B)		千円	5,210	5,078	5,086	5,084	
総事業費 (A+B)		千円	17,495	18,560	18,238	23,008	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	郷土資料館の維持管理及び運営	非常勤職員報酬 5,260千円 重油代等燃料費 797千円 電気代等光熱水費 1,309千円 保守管理委託経費 4,045千円 ボイラー設備更新費 4,960千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：学校プール開放事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学校プールを夏季休業期間中、開放・管理する。プールの水質管理のほか、開放校毎に開放時間中2名のプール監視員を配置し、原則、日曜と水曜を休場日としている。午前10時から正午までと午後1時から午後3時30分まで開放している。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	開放校区の児童・生徒（中学生）数	人	9,631	9,377	9,212	9,055
対象指標2						
活動指標1	開放校数	校	17	16	17	16
活動指標2	開放日数	日	14	14	14	14
成果指標1	利用者数	人	11,438	10,231	10,000	10,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	3,805	3,553	3,756	3,589
正職員人件費(B)		千円	1,202	1,172	1,565	2,347
総事業費(A+B)		千円	5,007	4,725	5,321	5,936

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	夏季休業期間中に小学校16校（1校プール改修工事のための）のプールを、開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者に開放する。	監視員等報酬 3,102千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				○
廃止 その他				
		改革方向性(成果)	向上	
			維持	
			低下	

事業名： 体育施設開放事業（学校体育館土曜開放）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学校週5日制の対応として、毎週土曜日午前8時30分から正午に市内10小学校の体育館を開放し、利用者の自由なスポーツ活動（バドミントン・バレーボール・バスケットボール・ドッジボール・その他軽スポーツ等）に供するほか、グラウンドを自由開放する。出入口の錠の開閉や安全管理・器具使用上等の指導・説明等のため1校に2名の指導員を配置している。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校週5日制により生じた休日を子供たちが家に閉じこもることなく、有意義に過ごし健やかに成長する。</li> <li>・スポーツ少年団等のスポーツ組織へ未加入の子供たちに対し、スポーツに親しむ機会を提供する。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	実施校区の児童・生徒数	人	6,466	6,350	6,257	6,175
対象指標2						
活動指標1	開放校数	校	10	10	10	10
活動指標2	開放日数	日	202	201	240	220
成果指標1	利用者数	人	3,275	2,778	3,500	3,100
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,167	1,244	1,459	1,345
正職員人件費(B)		千円	1,202	1,172	1,174	1,564
総事業費(A+B)		千円	2,369	2,416	2,633	2,909

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	土曜日に小学校10校の体育館及びグラウンド（夏季）を、開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者に開放する。	・指導員謝礼 1,196千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：屋外体育施設管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
はやぶさ運動広場、屋外スケートリンク									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・はやぶさ運動広場の利用受付、維持管理や軽易な補修整備を行う。</li> <li>・屋外スケートリンクのリンク造成、運営管理を行う。</li> <li>・両施設とも業務委託で行う。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、市民がスポーツに親しむ場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	はやぶさ運動広場開放日数	日	184	184	190	190
活動指標 2	屋外スケートリンク開場日数	日	28	0	25	25
成果指標 1	はやぶさ運動広場利用者数	人	24,340	17,473	30,000	21,000
成果指標 2	屋外スケートリンク利用者数	人	13,733	12,953	12,000	13,500
事業費 (A)		千円	1,677	1,980	5,475	5,629
正職員人件費 (B)		千円	401	391	782	782
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>2,078</b>	<b>2,371</b>	<b>6,257</b>	<b>6,411</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	施設の管理運営、スケートリンク造成を業務委託により実施する。	委託料 5,629千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：スポーツ少年団補助金

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市スポーツ少年団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー養成事業等に対して補助を行う。</li> <li>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会を通じて江別市スポーツ少年団に対し定額を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを行う青少年を増やす。</li> <li>・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	登録団数	団	44	42	42	41
対象指標 2	登録団員数	人	1,185	1,101	1,101	1,045
活動指標 1	補助金額	千円	2,100	2,030	1,930	1,930
活動指標 2						
成果指標 1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	12.2	11.7	11.9	11.5
成果指標 2	認定指導員の数	人	142	139	140	140
事業費 (A)		千円	2,100	2,030	1,930	1,930
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	2,902	2,811	2,712	2,712

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別市スポーツ少年団に対し補助金を支出。	補助金 1,930千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： あけぼのパークゴルフ場管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	あけぼのパークゴルフ場
手段（事務事業の内容、やり方）	施設の運営管理を指定管理者に委託する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	施設の維持管理を適切に行い、パークゴルフに親しむ場を提供する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	10,121	10,121	10,398	10,398
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	30,813	33,710	35,000	35,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	10,121	10,121	10,398	10,398
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	10,923	10,902	11,180	11,180

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	施設の運営管理を指定管理者に委託する。	指定管理料 10,398千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別市体育協会補助金

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市体育協会
手段（事務事業の内容、やり方）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育協会が行う単位協会活動費補助事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業等に対して補助を行う。</li> <li>・ 「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会に対し定額を補助する。</li> </ul>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競技力の向上</li> <li>・ 競技スポーツをする人の増</li> <li>・ 競技スポーツを指導する人の増と資質向上</li> </ul>

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	加盟団体数	団体	25	25	25	25
対象指標 2	加盟人数	人	6,899	5,977	7,000	6,500
活動指標 1	補助金額	千円	1,409	1,736	1,531	1,516
活動指標 2						
成果指標 1	主催・共催事業実施数	事業	5	5	5	5
成果指標 2	有資格指導者数	人	428	392	428	392
事業費 (A)		千円	1,409	1,736	1,531	1,516
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	2,211	2,517	2,313	2,298

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別市体育協会に対し補助金を支出。	補助金 1,516千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：全国大会等開催補助事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市で開催される全国大会の運営経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民が全国レベルの高度なプレーに触れることができる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	全国大会件数	件	0	2	0	0
活動指標 2	補助金額	千円	0	300	0	0
成果指標 1	参加者数	人	0	1,400	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	300	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	782	0	0
総事業費 (A+B)		千円	0	1,082	0	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	27年度は全国規模の大会の開催がないため、該当事業なし	

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性		減少	維持	増加	
維持		向上			
見直し			維持		
新規					
休止		低下	○		
廃止 その他					



事業名：森林キャンプ場管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
森林キャンプ場									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設の管理運営を指定管理者に委託する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、自然と触れ合う場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	5,753	5,753	5,946	5,946
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	8,089	8,212	9,000	9,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,753	5,753	5,946	5,946
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	6,555	6,534	6,728	6,728

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 5,946千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スポーツ普及奨励事業（スポーツ大会出場奨励金交付）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）の参加負担の軽減を図るとともに、市のスポーツ支援政策として奨励金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
スポーツ大会に出場する市民の経費負担を軽減し、スポーツの振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民数	人	330	232	318	326
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,194	1,302	2,000	2,000
活動指標 2						
成果指標 1	全道大会出場者数	人	178	154	172	183
成果指標 2	全国大会出場者数	人	145	74	143	138
事業費 (A)		千円	2,194	1,302	2,000	2,000
正職員人件費 (B)		千円	401	391	391	782
総事業費 (A+B)		千円	2,595	1,693	2,391	2,782

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）に奨励金を交付する。 全道大会出場：小学生・中学生のみ3,000円/人（ただし、原則として100km圏内で開催される大会を除く）。 全国大会出場：道外開催：10,000円/人、道内開催：5,000円/人。 国際大会出場：10,000円/人～30,000円/人を支給する（大会内容、開催地によって変動）。	奨励金 2,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性		減少	維持	増加	
維持					
見直し					
新規					○
休止					
廃止 その他					
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下	

事業名：スポーツ普及奨励事業（青少年スポーツ賞顕彰）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
スポーツ競技団体登録児童生徒	
手段（事務事業の内容、やり方）	
全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。 ・スポーツ賞：全国大会で、優秀な成績記録を収めた者（高校生以下） ・スポーツ奨励賞：全道大会で1位の成績記録を収めた者（高校生以下） ・教育委員会表彰：全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた者（中学生以下）	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	1,185	1,101	1,101	1,045
対象指標2						
活動指標1	審査会開催数	回	3	3	3	3
活動指標2						
成果指標1	受賞者数	人	57	51	64	65
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,057	1,021	1,158	1,183
正職員人件費(B)		千円	1,202	1,172	1,174	1,564
総事業費(A+B)		千円	2,259	2,193	2,332	2,747

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。	表彰楯作成 1,008千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性		改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持		向上			
見直し		維持			○
新規		低下			
休止					
廃止					
その他					

事業名：社会人体育団体学校開放事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
スポーツ・レクリエーション活動を行うスポーツクラブ（学校部活・営利団体を除く）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
10名以上で、かつその8割以上が当市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内24小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民のスポーツクラブが定期的にスポーツ・レクリエーション活動を行うことが可能な場を提供することによって、競技スポーツの振興と健康・体力づくりとしてのスポーツに親しむ機会が増加する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	クラブ登録数	団体	130	129	140	135
対象指標2	クラブ登録人数	人	2,797	2,891	3,000	3,000
活動指標1	開放校数	校	24	24	24	24
活動指標2						
成果指標1	学校開放利用人数	人	163,185	151,124	180,000	170,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	354	433	445	429
正職員人件費(B)		千円	2,004	1,953	1,565	1,956
総事業費(A+B)		千円	2,358	2,386	2,010	2,385

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	10名以上で、かつその8割以上が当市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内24小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。	清掃用具・スポーツ用品等消耗品 320千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：地域スポーツ活動活性化促進事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
学校、自治会等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューの指導要求に応じ、スポーツ推進委員が指導に出かける。活動場所の確保は依頼団体が行う。 メニューはミニテニス、フライングディスク、ユニカール、ハッピーボウリング、ティーボール、長なわとび&バンジージャンプの6種類。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やす。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	学校、自治会等の数	団体	190	189	190	190
対象指標 2						
活動指標 1	スポーツ推進委員数	人	30	29	30	30
活動指標 2						
成果指標 1	出前指導派遣者数	人	21	17	26	26
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	267	277	341	324
正職員人件費 (B)		千円	401	391	391	391
総事業費 (A+B)		千円	668	668	732	715

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	地域や学校、団体からの申込に応じ、スポーツ推進委員を派遣して、軽スポーツを指導・普及する。	スポーツ推進委員報酬 169千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 体育施設整備更新事業（体育施設耐震化）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
新耐震基準（昭和56年6月）以前に設計、建築された棟を有する耐震診断が必要な体育施設（体育館）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
昭和56年以前に建設された耐震診断が必要な体育施設について耐震診断を行い、その結果、必要に応じて耐震補強改修を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
利用者が安全に体育施設を利用できるよう、耐震化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	新耐震基準（昭和56年6月）以前に設計、建築された棟を有する耐震診断が必要な体育施設数	館	3	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	耐震診断を行った体育施設数	館	1	1	2	2
活動指標2						
成果指標1	耐震改修方法等の検討が終わった体育施設	館	0	1	1	2
成果指標2						
事業費（A）		千円	7,644	6,552	119,500	5,400
正職員人件費（B）		千円	401	391	1,174	1,173
総事業費（A+B）		千円	8,045	6,943	120,674	6,573

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	大麻体育館：平成26年度に実施した耐震診断の結果に基づき、耐震改修実施設計委託を行う。	耐震改修実施設計委託 5,400千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 3市交流スポーツ大会開催事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業の一つで、パークゴルフ大会と家庭婦人スポーツ大会（バドミントン、卓球、バレーボール）を3市持ち回りで開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	大会数	大会	2	2	2	2
活動指標 2						
成果指標 1	市民の参加者数	人	163	135	150	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	140	0	101	130
正職員人件費 (B)		千円	401	0	391	782
総事業費 (A+B)		千円	541	0	492	912

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	近隣3市交流家庭婦人スポーツ交流大会を開催する。	入賞記念品 50千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スポーツ大会等振興補助事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
一般財団法人江別市スポーツ振興財団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別市スポーツ振興財団が行う原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会、健康体力づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業に対して補助を行う。</li> <li>・「江別市スポーツ振興財団運営費等補助金交付要領」に基づき、一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し定額を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	対象団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	39,891	39,900	44,535	44,631
活動指標 2						
成果指標 1	参加者数	人	6,543	7,363	7,000	7,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	39,891	39,900	44,535	44,631
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
<b>総事業費 (A+B)</b>		千円	<b>40,693</b>	<b>40,681</b>	<b>45,317</b>	<b>45,413</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し補助金を支出。	補助金 44,631千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：屋内体育施設管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
各施設の管理運営を指定管理者に委託する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	0	0	4	4
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	0	0	175,335	175,926
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数（4館合計）	人	0	0	480,000	480,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	175,355	175,926
正職員人件費 (B)		千円	0	0	2,347	2,347
総事業費 (A+B)		千円	0	0	177,702	178,273

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	各施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 175,926千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スポーツ合宿誘致推進協議会関連経費

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	市内スポーツ関係団体等によるスポーツ合宿誘致推進協議会を設立し、スポーツ合宿誘致に関する協議を行い、情報収集や当市のPR活動を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機にシティプロモートの一環としてスポーツ合宿誘致を進めるとともに、合宿を通じてトップレベルの選手と市民との交流により、スポーツに対する意識・関心の向上を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	0	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	協議会開催数	回	0	0	0	3
活動指標 2						
成果指標 1	合宿を行った団体数	団体	0	0	0	20
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	198
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,564
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	1,762

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	協議会を開催し、当市への合宿誘致を進めるために必要な条件の検討を行うとともに、情報収集やPR活動を行う。	情報収集・PR活動のための旅費：198千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機にシティプロモートの一環としてスポーツ合宿誘致を進め、合宿を通じての市民交流などにより、江別市のスポーツ推進を図る。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					○
見直し					
新規					
休止					
廃止					
その他					

事業名：小中学生国内交流研修事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
国内研修交流訪問団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
友好都市土佐市との相互交流を行う。 ○訪問：10月中旬 ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学 ○受入：1月末 ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学 ○事業集録作成 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、研修交流事業を円滑に行う団体に対し、補助金を支出する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
土佐市との教育交流の中から児童生徒の友好都市への認識を深めるとともに、様々な生活文化や風土にふれ、豊かな感性養われるようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	14	13	13	13
対象指標 2	土佐市からの研修訪問数	人	18	16	16	16
活動指標 1	補助金額	千円	1,232	1,069	1,127	1,135
活動指標 2						
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	2,251	3,347	3,111	3,500
成果指標 2	訪問した学校の生徒数	人	411	1,141	946	872
事業費 (A)		千円	1,410	1,328	1,386	1,424
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	2,347	2,347
総事業費 (A+B)		千円	3,815	3,672	3,733	3,771

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問：10月中旬 ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学</li> <li>受入：1月末 ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学</li> <li>事業集録の作成</li> <li>活動団体の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	引率教諭・同行職員旅費 289千円 交流訪問団への補助金 1,135千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：中学生国際交流事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
海外研修交流訪問団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
姉妹都市グresham市との相互交流を行う。 ○派遣：（事前研修）グresham市・江別市の概要把握、語学研修、（実地研修）ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学 ○受入：ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学 ○事業報告書作成 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、研修交流事業の円滑な運営を行う団体に対し補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
グresham市との相互交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚を養うようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	8	8	8	8
対象指標 2	グreshamからの訪問数	人	9	9	9	9
活動指標 1	補助金額	千円	1,413	1,064	1,110	1,334
活動指標 2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	9	9	10	10
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	1,212	1,035	1,013	1,099
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,785	1,811	1,896	2,132
正職員人件費 (B)		千円	2,004	1,953	1,956	2,347
総事業費 (A+B)		千円	3,789	3,764	3,852	4,479

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣：（事前研修）グresham市・江別市の概要把握、語学研修</li> <li>（実地研修）ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学</li> <li>受入：ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学</li> <li>事業報告書作成</li> <li>活動団体の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	引率教諭旅費 400千円 国際交流員旅費 381千円 交流訪問団への補助金 1,334千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				